

かわら版「きずな」

第17号 平成30年6月25日

高野地区／松ヶ丘・鈴塚・高野・
けやき台・美園・乙子
発行所／高野地区地域福祉活動計
画実行委員会
発行責任者／田尻昭二

5月4日(金) '高野こいのぼりまつり' 開催(けやき台公園)

3日が雨で順延となった「第13回高野こいのぼりまつり」が前日とは打って変わって晴天の下、朝から大勢の家族づれが来場し、賑やかに行われました。開会挨拶の後、子ども達による開会宣言がありお祭りがスタート。地域の皆さんの協力で楽しいお店やゲームコーナーなど子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさん！GWの中日に地元で楽しく、爽やかな休日となりました。



市長はじめ来賓の方も多数来場、子どもたちと一緒に楽しんでいました。



瓜代農園 ～土と親しみながら美味しい野菜を作りに挑戦する人たち～

瓜代農園（高野地区）がもっとも輝いて見えるのは4～5月。この時期はタネ蒔きや植え付けが集中する時期で、野菜づくりを楽しむ人たちがたくさん集まって活況を呈しています。耕運機やの農機具のほか、トイレや野菜洗い場などが整っているため、誰でも「野菜づくり」が気軽に楽しめるそうです。

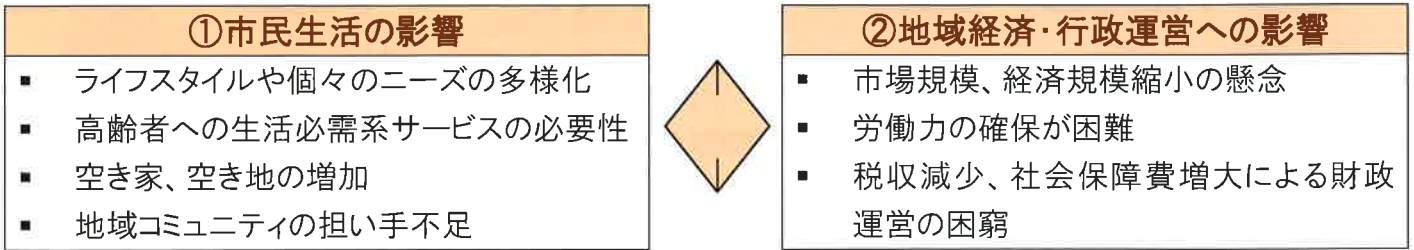


Aさんは定年後、家でブラブラしていることを改め、「野菜づくり」にチャレンジ。Bさんは都内で働くサラリーマン。「農園に来られるのは土日だけ。日照りが続くと仕事中でも野菜のことが心配になります。」と話されていました。野菜づくりの情報交換をしている人たちの姿も目に付きまます。肥料を蒔く人、支柱を立てている人、収穫をする人、クワを振るう人なども、農園ならではの光景といえましょう。



市から将来を見据えた「地域づくり」の考え方 ⇒ 守谷市まちづくり協議会設立の提案がありました！

これまで、人口増加が継続している守谷市においても十数年後には、人口が減少に転じることが推計されています。少子高齢化・人口減少は、これまでになかったような課題をもたらします。特に懸念される大きな課題が2点あります。



市内全域の画一的な行政運営は、無駄を生むとともに、近い将来困難になることが推測されます。

市から「まちづくり協議会」設立の提案

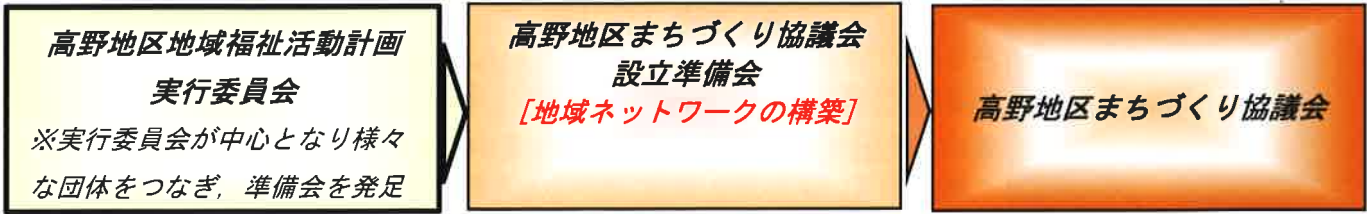
懸念される課題に対応し、将来にわたり活力のある地域社会を維持していくには、各地域の状況や求めるニーズに“ベストマッチ”した行政サービスを提供し、将来を見据えた「地域づくり」を進め、「行政主導のまちづくり」から「地域主導のまちづくり」へ行政運営を転換していく必要があります。

そこで、将来を見据え「地域づくり」を進める組織として「まちづくり協議会」の設立を提案します。各地域の“地域福祉活動計画実行委員会”が中心になって、より多くの団体等を取り込み、自治会・町内会と連携することによって「まちづくり協議会」へ発展・拡大していただきたいと考えています。

高野地区における設立に向けた取り組み

高野地区地域福祉計画実行委員会が中心となり、昨年11月から十数回の意見交換や先進地域視察勉強会等を重ねた結果、まだまだ不明確な点・課題も多くあり性急に協議会を立ち上げるには時期尚早と判断し、まずは設立準備会を発足させネットワークづくりから始めることになりました。

当面は各地域の課題抽出と、地域全体で取り組む「敬老行事」でネットワーク構築をめざしていくことになりました。今年度の「敬老行事」は11月11日(日)松ヶ丘小学校体育館で開催します。



将来を見据えた地域づくり、「高野地区まちづくり協議会設立準備会」が発足

「高野地区まちづくり協議会」の設立を検討する第 1 回準備会が 4 月 21 日、高野公民館で開催されました。

事務局より、市からの要請を受け、地域福祉計画実行委員会が中心となり各自治会・団体と連携しながら協議会設立に向けての方向性が示され、今までの取り組み状況の説明・報告がありました。

今年に入り十数回の議論を重ね、設立準備会発足への具体的活動に着手することになりました。

また前回の会議で選任された準備会役員の推薦委員会委員長の寺田文彦氏より、役員についての提案があり、全体の拍手で承認され、各役員から挨拶がありました。



< 選任された役員は下記の通りです。 > * 敬称略

「高野地区まちづくり協議会設立準備会」 会長＝田尻昭二、副会長 4 人（各地区より選出）＝会田光男（高野地区）・木所信智（松ヶ丘地区）・正木宏幸（けやき台地区）・清水敬（美園地区）、会計＝花田政男、書記＝木村光宏の各氏です。

◆子どもヘルパー◆

～今年も始まります！～

昨年は、高野地区の敬老の集いや、様々な場面で積極的にお手伝いをしてくれた子どもヘルパーの子ども達、今年も活動を開始します。

7 月 29 日（日）に、新しく 4 年生のメンバーを迎え任命式がおこなわれます。

今年もまた、黄色いエプロンで活動していきます。黄色いエプロンを

見かけましたら、声をかけてあげてください。



広報きずな

編集メンバー募集



高野地区広報きずなでは、編集のお手伝いをしていただけるボランティアメンバーを募集しています。

現在、年 4 回広報きずなの発行をおこなっています。その編集に関わる高野地区の情報を集めたり、取材や写真を撮りに行ったり等のお手伝いしていただける方は下記までご連絡ください。

ご応募お待ちしております。



守谷市社会福祉協議会

0297-45-0088

<介護保険以外のサービス> ~その2~

今回は守谷市社会福祉協議会が実施している介護保険に関係なく利用出来るサービスを2つご紹介します。

【お問い合わせ先】

下記サービスについてのお問い合わせ
守谷市社会福祉協議会
☎ 0297-45-0088

①車いすや福祉車両の貸し出しサービス




「田舎から身体の不自由な両親が遊びに来るが家には車いすはないなあ…」
「怪我をして一時的に車いすが必要になってしまった…」
「町内会の防災訓練で車いすを使いたい」
「普段は必要ないが、旅行の時など車いすがあれば安心だよな…」
「病院に行く時に車いす用の車両があれば楽なんだけど…」



そんな時の為に「車いす」や「スロープ付福祉車両」の貸し出しを行っています。

車いすの貸し出し



- 利用料：無料
- 貸出期間
基本 1 週間以内
(最長 1 ヶ月)
- 受付時間：
平日 8 時 30 分より 17 時まで

福祉車両の貸し出し



- 利用料
無料 (運転は利用者で)
燃料費は利用者負担
- 軽ワゴン N ボックス
3 人乗り (車いす含む)
- 貸出期間：平日原則 1 日、最高 1 泊 2 日まで
- 受付は平日 8 時 30 分より 17 時まで

②ほほえみサービス

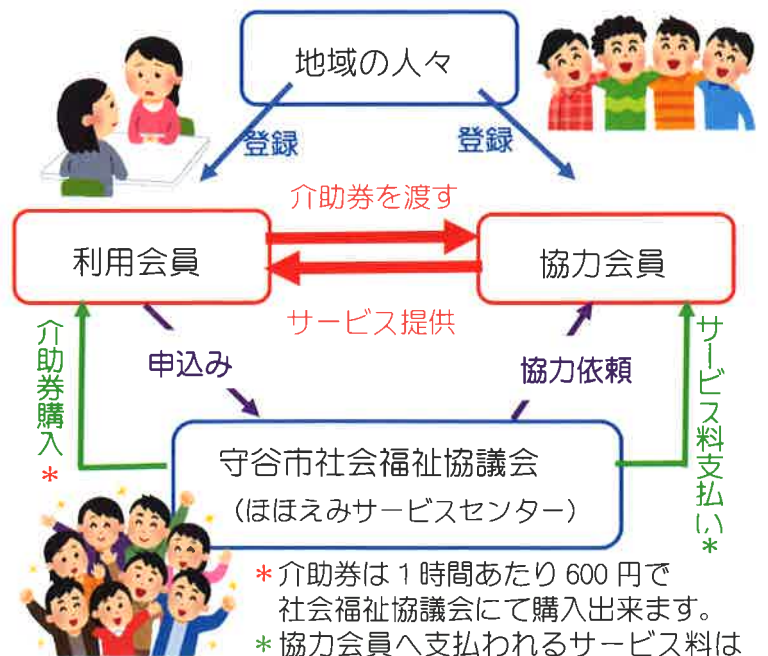
「ほほえみサービス」とは高齢者や身体の不自由な方、産前産後の方などの日常生活上の負担を少しでも軽減するために、地域の方々の「助け合いの心」によって行う「会員方式の有償家事援助サービス」です。

- 利用会員…お手伝いして欲しい人
守谷市在住
65 歳以上の方、身体に障がいをお持ちの方、産前産後の方 など
- 協力会員…家事援助などのご協力をして下さる人
年齢、性別、資格は不問
自分の出来る事を出来る時間帯でご協力下さい
- 仕事の内容
住居等の掃除、整理整頓
生活必需品などの買物代行 など

★H29 年度のほほえみサービスの利用(登録)状況
利用会員数 21 名(高齢者 18 名、産前産後の方 3 名)
協力会員数 20 名

最近では里帰り出産をされない方も増えてきました。産前産後などの忙しい時期、家事など大変な部分だけでもお手伝いして頂ける事は心の支えになります。また、けがをして動けない期間や、今迄は独りで行っていたが最近ちょっと大変になってきた日常の家事などがございましたらご相談下さい。

また、自分の出来る事を、自分の出来る時間だけ、地域の皆さんに対してご協力頂ける方は、是非お気軽にご登録をお願い致します。



現在、協力会員募集中です！ 皆様のご登録をお待ちしております♡